

## 令和5（2023）年度 資源評価調査状況報告書（新規拡大種）

### ハツメ日本海

|      |            |       |  |
|------|------------|-------|--|
| 対象水域 | 日本海（青森～島根） | 参画機関名 | 水産研究・教育機構 水産資源研究所 底魚資源部、青森県産業技術センター水産総合研究所、秋田県水産振興センター、山形県水産研究所、新潟県水産海洋研究所、富山県農林水産総合技術センター水産研究所、石川県水産総合センター、福井県水産試験場、京都府農林水産技術センター海洋センター、兵庫県立農林水産技術総合センター但馬水産技術センター、鳥取県水産試験場、島根県水産技術センター |
|------|------------|-------|--|

#### (1) 調査の概要

- ・機構は生物情報、漁場別漁獲情報の収集、日本海西部および北部における資源調査（分布調査）および各県調べの漁獲情報の集約を実施
- また、日本海北部において標本船調査（体制構築含む）を実施
- ・各府県は漁獲統計の収集ならびに底びき網による漁獲情報の収集を実施

#### (2) データ収集状況

- 各機関により、令和2年度評価で用いた情報に加え、以下の通り情報収集を実施
- ・青森県では主要21港（日本海側～陸奥湾）の2007年以降の漁業種類別年間漁獲量と2020年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
  - ・山形県では2020年以降の月別漁獲量を収集済み
  - ・石川県では主要10港の2020年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
  - ・福井県では一部の漁港（三国と福井）における2020年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
  - ・京都府では2015年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
  - ・鳥取県では2011年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
  - ・島根県では2020年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
  - ・秋田県、新潟県、富山県、兵庫県では漁獲量が少なく、県調べの集計がない
  - ・機構は、日本海西部・北部における資源（分布）調査ならびに標本船調査（体制の構築を含む）を関係県とともに実施中

#### (3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：令和2年度評価報告書（[https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2020/report\\_2020\\_20.pdf](https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2020/report_2020_20.pdf)、2023年11月20日閲覧）を参照
- (2) 年齢・成長：雌が  $Lt = 223 \{1 - \exp[-0.26(t + 0.23)]\}$ 、雄が  $Lt = 166 \{1 - \exp[-0.40(t + 0.09)]\}$  Yagishita et al. (2022)

(3) 成熟・産卵：令和2年度評価報告書を参照

(4) 被捕食関係：令和2年度評価報告書を参照

(4) 備考

・資源評価調査報告書については令和2年度に作成および公表済み

([https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2020/report\\_2020\\_20.pdf](https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2020/report_2020_20.pdf)、2023年11月20日閲覧)

・多くの地域で、メバル類やその他の集計として他種と合算されていることもあり、引き続き、精査が不可欠

・日本海西部・北部による資源調査や標本船調査でのデータ蓄積がさらに必要

・日本海西部と日本海北部の個体群の生物学的・遺伝学的関係を調べることが重要

(5) 引用文献

Yagishita, N., Tashiro M. and R. Doiuchi (2022) Age and growth of hatsume *Sebastes owstoni* in the Sea of Japan off the Tango Peninsula, Kyoto Prefecture. *Aquacult. Sci.* 70: 261-268.